

児童発達支援・放課後等デイサービス コモド西野  
2019年度 自己評価表

1. 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
2. 保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後デイサービス）
3. 事業所における自己評価表（児童発達支援）
4. 事業所における自己評価表（放課後デイサービス）

公表：令和 年 月 日

事業所名 コモド西野

保護者等数（児童数）19（20）回収数14割合74%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	0	利用児が多い時はそう感じる。	安全な室内環境となるよう、環境整備に努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2	0	1	心理士や児童の専門職を増やして欲しい。職員さんが十分に休憩できることを願っている。専門性は申し分ないと思う。この1年くらいに職員の方の退職、異動等で変わっているため専門性などがわからなくなった感じがする。	自己研鑽に加え社内での研修に定期的に専門機関に入っていただきご教授いただく機会を今年度から作っています。職員一人一人がより専門性を高めていけるよう日々努力してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1	0	1	時計一つにしてもわかりやすい工夫がなされていると思う。	活動の場所を明確化し、利用児にとってわかりやすい環境を心がけています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1	0	0	全く問題ないと思う。	毎日の清掃業務を怠らず、気持ちよく過ごせるよう意識しています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	0	0	0	非常によく分析されていると思う。	更新の際には、ご家庭より意見書をいただき、そのご意見を基に作成しております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	2	0	1	非常に専門性高く申し分ないと思う。	よりわかりやすい書式の設定など、工夫を続けていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	1	0	0	非常に専門性高く申し分ないと思う。	月に目標の見直しを行っています。全職員が支援計画の作成に関する会議に参加する事で目標の共有をしています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2	0	0	色々なプログラムが実施されています。季節に応じた行事等。遠足やクッキングなど子どもも楽しく参加している。	更新の際には、ご家庭より意見書をいただき、そのご意見を基に作成しております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	1	5	特に必要だと思わない。	児童館へ出向いたり地区センターに出向いて地域との交流の機会を作るなど、引き続き工夫をしています。
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0	丁寧に分かりやすく説明を受けた。	契約の際にご説明しています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	13	1	0	0	丁寧に分かりやすく説明を受けた。	半年に一度、支援計画の更新に伴い個別面談を設けてご説明しています。

説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	2	2	2	参観日の時や相談した時にアドバイスを頂いた。 コモド通信の内容が充実していて、わかりやすく実践しやすいので引き続き発信して頂きたい。	今年度の保護者会には札幌市自閉症・発達支援センターおがるの職員の方より保護者向けの研修を行っていただきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	13	1	0	0	連絡ノートで充分に出来ていると思う。	連絡ノートによるやりとりや、送迎の際の報告等その日の様子をお伝えしています。また、定期的な面談以外にもお話ができる機会を設けています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	0	充分に具体的にアドバイスを頂いております。	月に一度発行している通信で専門的な情報を発信しています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	0	1	参加はあまりできていませんが開催されているのは知っている。 保護者会等の機会が増えありがたいと思っている。これからも様々な機会を作っていただきたい。 保護者会、楽しく参加できるので良いと思う。クラフト制作など色々なことを考えて下さりいつも参加するのが楽しみ。	二か月に一度のサロン、年に二回の茶話会、年に一度の保護者会や参観日、参観週間など、保護者の方々が参加できる行事を行い、保護者同士が気軽に話ができる機会を設けています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	2	0	1	対応の迅速さにもいつも感心させられている。 相談などがある時、伝えるとすぐに時間を作ってくださりとても助かる。	相談や申し入れがあった際には、担当がすぐに対応すると共に、必要に応じて外部の専門機関と連携して対応することを心がけています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	0	連絡ノート等情報伝達は丁寧に受けています。	連絡ノートや送迎時に伝えていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1	1	0	書面で充分に発信されている。 ブログの更新頻度をお忙しいとは思いますがアップしていただけると嬉しい。 ホームページの更新が少ない。	月に一度発行している通信で、月予定をお知らせしています。年度初めの通信では、年間予定をお知らせしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	3	1	0	連絡ノートの取り違えや書き間違い、メールの誤送信などがあった。	業務が煩雑にならないよう業務内容を見直すなど、ミスのないよう努めます。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1	0	1	説明はしっかり受けた。訓練等は会報等で実施されたことを知っている。	マニュアルに関しては契約の際にご説明しています。また、二か月に一度避難訓練を実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	1	0	説明はしっかり受けた。訓練等は会報等で実施されたことを知っている。 午前クラスのみが多いように感じる。午後クラスも行ってほしい。	二か月に一度、避難訓練を実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	0	0	とても楽しみにしている。	利用児にとって来所が楽しみとなるよう、職員一同日々工夫をし寄り添いながら療育することに努めています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	2	0	0	長期休暇中の利用時間が短いと感じた。 大変満足している。 子供のことをよく見て下さり親としても様々なことに気づける。手厚い支援で感謝している。ありがとうございます。 通院の時に一緒に病院に同行してくださった先生がアドバイスしてくださったことをコモドでも実行してくださったりとても満足している。	いただきました貴重なご意見をもとに、今後もより一層サービスの充実に努めて参ります。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 年 月 日

事業所名 コモド西野 保護者等数（児童数）6（7） 回収数5 割合83%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	1	とても広いデイサービスだと思う。	安全な室内環境となるよう、環境整備に努めます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1	0	0	有資格者の先生がたくさんいるので安心。 普段接していれば支援は出来るだろうが専門性について研修等が十分に行われているか不明である。	自己研鑽に加え社内での研修に定期的に専門機関に入らせていただきご教授いただく機会を今年度から作っています。職員一人一人がより専門性を高めていけるよう日々努力してまいります。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	0	0	3	バリアフリーを意識して見学したことがなかったため、今度よく見てみる。 丁寧に分析された上で計画が作られていると感じる。	活動の場所を明確化し、利用児にとってわかりやすい環境を心がけています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	0	0	0	初期のころ特にしっかり話を聞いて下さり計画に結びついている。	更新の際には、ご家庭より意見書をいただき、そのご意見を基に作成しております。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	0	様々な遊びを提案してくれている。 満足やお祭り等、楽しみが増えた。	更新の際には、ご家庭より意見書をいただき、そのご意見を基に作成しております。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	2	交流の機会はないように思うが、特に必要とも思わない。	児童館へ出向いたり地区センターに出向いて地域との交流の機会を作るなど、引き続き工夫をしていきます。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		契約の際にご説明しています。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0	連絡ノートをもとに細かく記入してくれ、こちらもノートを通して伝えやすい。 帰宅時にその日あったことや家で困っていることなど色々と話すことが出来ている。	利用ノートによるやりとりや、送迎の際の報告等その日の様子をお伝えしています。また、定期的な面談以外にもお話ができる機会を設けています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	0	0	面談で十分話し合いが出来ている。 色々とアドバイスをいただいている。	月に一度発行している通信で専門的な情報を発信しています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	0	0	0	参観日や茶話会等で色々と話を聞くことができた。	二か月に一度のサロン、年に二回の茶話会、年に一度の保護者会や参観日、参観週間など、保護者が参加できる行事を行い、保護者同士が気軽に話ができる機会を設けています。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	0		相談や申し入れがあった際には、担当がすぐに対応すると共に、必要に応じて外部の専門機関と連携して対応することを心がけています。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0	スケジュールで見通しを立てるなど配慮が行き届いている。	連絡ノートや送迎時に伝えています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	0		月に一度発行している通信で、月予定をお知らせしています。年度初の通信では、年間予定をお知らせしています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	0		職員研修を行い、十分な注意をしています。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	0	0	0		マニュアルに関しては契約の際にご説明しています。また、二か月に一度避難訓練を実施しています。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	0		二か月に一度、避難訓練を実施しています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0	まだ自分がやりたいくない時は参加できない事もあるが楽しんで通っている。	利用時にとって場所が楽しみとなるよう、職員一同日々工夫をし寄り添いながら療育することに努めています。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0	どのスタッフさんも子どもをしっかり見てくれていて安心感がとてもある。	いただきました貴重なご意見をもとに、今後もより一層サービスの充実に努めてまいります。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 年 月 日

事業所名 コモド西野

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		小集団で遊べるスペースやひとりで落ち着いて遊べるスペースを設けている。	利用児が過ごしやすい環境設定を試行錯誤しながら進めていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				人員配置基準は常に満たしているが、よりきめ細かい支援を行うということになると不足を感じる。支援内容と職員体制のどちらも見直しを検討していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○		パーテーションを導入し構造化を図っているが、利用児にとってわかりやすい環境となっているかは検証する必要がある。バリアフリー化はなされておらず、今後も改修の予定はありません。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎朝利用児の来所前後に清掃と消毒を行っている。	引き続き利用スペースの衛生管理を行います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				より良い形を今後も模索していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者の方々からいただいたご意見は職員間で共有しています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				今後もホームページにて公表していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		おがるによる機関支援を行っている。	評価を依頼することはないが、引き続き外部機関と連携し質の向上に努めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1度の社内研修に加え、外部の研修にも参加するようにしている。	研修の時間をこれまで以上に確保するのは難しいが、職員それぞれの自己研鑽も合わせて、資質の向上に努めていきます。
適切な上	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			常勤職員全員にアセスメントシートに記入してもらい、様々な視点からひとりひとりの利用児の状態像を把握するように努めている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			支援に生かすために標準的なアセスメントツールを使用している。	

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・幼稚園や保育所にも訪問し情報交換をしている。	今後も可能な範囲で、家庭や地域とのつながりを作っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画の内容は職員全員に周知している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員の中で役割分担を決めて行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		系列事業所と意見交換をするなどして、新しいプログラムを導入している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			今後も利用児の状況に応じて適切に作成していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼の際に確認をしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		当日の気になる点については適宜話し合い共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			今後も継続していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個人目標を月に1回見直している。	
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		児童発達支援センターや自閉症・発達障がい支援センターなどと連携している。	
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			該当するケースはありません。
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			該当するケースはありません。
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		お互いの施設を見学するなどして相互理解を図っている。	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		お互いの施設を見学するなどして相互理解を図っている。	
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターや自閉症・発達障がい支援センターなどと連携している。他事業所とも、必要な場合には面談等を行っている。	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		・冬期間は児童館の訪問をすることもある。	戸外活動の際に関わることはあるが、ほとんどの利用児は保育所等に通園しており、そこで活動をしています。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		依頼を受けて事例発表を行ったことはある。	系列事業所の職員1名が地域部会に参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			今後も継続していきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		自閉症・発達障がい支援センターより職員を派遣してもらっている。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○			今後も契約の際に丁寧に伝えていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○			今後も継続していきます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談があった場合には、できるだけ早く面談の機会を設けるようにしている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会や参観日、茶話会など2か月に1度は集まれる機会を設けている。	実施の頻度や内容については検討していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		相談があった場合には、できるだけ早く面談の機会を設けるようにしている。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		月に1回会報を発行している。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○			個人情報の取り扱いには注意しているが、ミスによりご迷惑をおかけすることがありました。今後はより一層注意していきます。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			今後も状況に合わせて適切に対応していきます。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の行事に利用児の兄弟等を招いている。	・施設の大きさから、地域の方を招待し活動することが難しいので、出向くようにしていきたい。
	非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		
④③		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			今後も定期的を実施していきます。
④④		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		書類を提出してもらっている。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時に特別な対応が必要ではないことを確認している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				今後も継続していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				外部の研修は定員の関係で受講できず、来年度へ持ち越しとなっている。社内で研修を深めたい。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				身体拘束が必要になるかどうかは契約時に保護者の方に確認し、必要がある場合は支援計画に記載する旨も説明しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 年 月 日

事業所名 コモド西野

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		パーテーション等で構造化し小グループに分けるなどしている。	利用児が過ごしやすい環境設定を試行錯誤しながら進めています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○				人員配置基準は常に満たしているが、よりきめ細かい支援を行うということになると不足を感じる。支援内容と職員体制のどちらも見直しを検討していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○		テナントであるため構造についての変更はできません。声かけ等で安全に過ごせるようにしていきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				より良い形を今後も模索していきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者の方からいただいたご意見は職員間で共有しています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				今後もホームページにて公表していきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		おがるさん・さんりんしゃさんに入っています。	評価を依頼することはないが、引き続き外部機関と連携し質の向上に努めていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修のみならず外部の研修にも足を運んだり外部講師にも参加頂いている。	基礎研修が足りず特性の理解を深める機会が必要。定期的におがるさんによる研修をお願いする。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			常勤職員全員にアセスメントシートに記入してもらい、様々な視点からひとりひとりの利用児の状態像を把握するように努めている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当は決まっているが他の職員の意見を取り入れている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			系列事業所と意見交換をするなどして、新しいプログラムを導入している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			月に一度個人目標の見直しを行っている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				今後も利用児の状況に応じて適切に作成していきます。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼の際に確認をしている。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日の気になる点については適宜話し合い共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月に一度個人目標の見直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			個別活動・自立活動・集団活動を組み合わせている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				担当者会議が開催される場合には、最も適切な者が参加します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				今後も適切に行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				該当するケースはありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				必要な場合には行っていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○			必要があれば、利用児や保護者の同意を得た上で提供することはできます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			職員研修に講師を派遣してもらっている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		児童館へは冬期間出向している。公園で遊んでいる一般のお子さんとの関わりがある。	戸外活動の際に関わることはあるが、学校等でその機会が設けられていると思います。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			系列事業所の職員1名が地域部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				今後も継続していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				通信の発行、参観日、茶話会、保護者会などを行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				今後も継続していきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合には、できるだけ早く面談の機会を設けるようにしている。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				実施の頻度や内容については検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情等があった場合には適切に対応していきます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回会報を発行している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報の取り扱いには注意しているが、ミスによりご迷惑をおかけすることがありました。今後はより一層注意していきます。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				今後も状況に合わせて適切に対応していきます。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の行事に利用児の兄弟等を招いている。	施設の大きさから、地域の方を招待し活動することが難しいので、出向くようにしていきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				今後も定期的実施していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				今後も定期的実施していきます。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				外部の研修は定員の関係で受講できず、来年度へ持ち越しとなっている。社内で研修を深めたい。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				身体拘束が必要になるかどうかは契約時に保護者の方に確認し、必要がある場合は支援計画に記載する旨も説明しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	契約時に特別な対応が必要ではないことを確認している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				今後も継続していきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。